

わたしたちの難民問題

2019 vol.20



紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、世界各地に7,000万人いるといわれています。日本にもさまざまな国から難民が庇護を求めて来ています。支援者、研究者のお話を聞いて、わたしたちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

11/27 (水) 『ルワンダ内戦の悲劇から学んだこと』

永遠瑠 マリールイズさん (NPO 法人ルワンダの教育を考える会理事長)

1994年に内戦が勃発したルワンダから必死の逃亡の末、隣国の難民キャンプへたどり着いたマリールイズさん。困難な状況から彼女を救ったのは、教育、そして人との繋がりでした。内戦勃発から難民キャンプ、そして日本へという壮絶な体験についてのお話を伺い、命の尊さ、平和の大切さについて考えます。

12/3 (火) 『シリア難民に対する人材育成』

石川 幸子さん (JICA 国際協力専門員)

JICA (独立行政法人国際協力機構) が実施する、ヨルダン、レバノンに難民として逃れているシリア人の若者を留学生として日本に受け入れる人材育成事業「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム」。修士号の取得と将来のシリアと日本の架け橋になるために、家族と共に日本で奮闘する留学生の姿や、JICAとしてどのような支援を行っているのか等のお話を担当者から聞きます。

12/11 (水) 『ハリー神父とインドシナ難民』

ブイ ティ ミン ヒュウ (平川 孝美) さん (賢明女子学院中高等学校教諭) / 乾 美紀さん (兵庫県立大学教授)

「難民の父」として1989年受け入れの開始からインドシナ難民を支えてこられたハリー・ヘンドリックス神父が今年4月に亡くなりました。神父をよく知るお二人からお話を伺い、一時滞り施設の責任者、姫路定住促進センター名誉所長、そしてセンター閉所後も難民の良き相談相手として活動してこられた神父の足跡を辿り、日本の難民受入れの歴史を振り返ります。

12/18 (水) 『ミャンマー難民は、今』

宇田 有三さん (フォトジャーナリスト)

アジア最大の難民出身国ミャンマー。70万人のロヒンギャ難民の帰還の目途が立たないだけでなく、70年にわたる内戦は一時停戦しているだけで和平協議は停滞しており、タイに流出した難民問題の解決も見えません。1993年より毎年現地取材を続ける講師より、ミャンマー問題における難民の位置づけと今後の展望について聞きます。

時間: 18:30~20:00

場所: 神戸市青少年会館 研修室

定員: 40名

神戸市中央区雲井通 5-1-2 神戸市勤労会館 5階

参加費: 無料

地下鉄・JR・阪急・阪神 各三宮駅から徒歩5分

要予約 お名前、ご連絡先、参加希望日をお知らせください。

難民事業本部 078-361-1700 / kansai@rhq.gr.jp

神戸YMCA国際・奉仕センター 078-241-7204 / houshi@kobeymca.org

兵庫県国際交流協会 078-230-3090 / hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp

